

# 11月給食だより

2024年度11月号  
安中市立安中小学校

## いも掘り 2年生

10月に2年生がいも掘りをしました。その様子を紹介します。土の中に隠れているサツマイモをみんなで協力して、一生懸命掘っていました。「あった!!」「大きい!!」「たくさんある!!」と嬉しそうな声をたくさん聞くことができました。サツマイモを植える、育てる、収穫する、食べるといった一連の流れを経験することで、育てることや収穫することの大変さも感じてもらえたと思います。食べ物を大切に作る気持ちにつながればと思います。



給食では、シチューやごはんでサツマイモが登場します。これからがおいしい時期のサツマイモを、ぜひご家庭でも食べてみてください!!

## 「いただきます」「ごちそうさま」に込める感謝の気持ち

日本では、食事の前に「いただきます」、食べ終わったら「ごちそうさま」のあいさつをする習慣があります。それぞれ、どのような意味があるのでしょうか。



### いただきます

「いただく（頂く／戴く）」は、頭にのせるという意味があり、身分の高い人から物をもたらう際、頭上に捧げて敬意を表した動作にちなむ言葉です。自然の恵み、生き物の命をもらうことへの感謝を表します。



### ごちそうさまでした

「ちそう（馳走）」は、食事を用意するために走り回ることを意味しており、この食事が出来上がるまでに関わった人びとへの感謝の気持ちが込められています。



## 給食を通して地産地消の良さを知ろう!

地産地消とは、地域で生産された農林水産物を、その地域で消費する取り組みです。学校給食では、地域でとれた「地産産物」を活用することで、地域の産業や食文化への理解を深め、地域への愛着を育むとともに、食料自給率や食料自給率といった課題について目を向ける機会にしたいと考えています。

### 地産地消の良さとは?

<p>新鮮な旬の味覚を味わうことができる</p>	<p>作っている人の顔がわかり、安心感が得られる</p>	<p>地域内で資金が還元され、地域経済の活性化につながる</p>
<p>農業が活性化することで農地が保全され、景観の維持や洪水の防止につながる</p>	<p>運ぶ距離が短くなり、エネルギーやCO2排出量が削減でき、環境に優しい</p>	<p>ESG（持続可能な開発目標）の達成に貢献できる</p>

### 学校給食に地場産物を活用する効果

<p>地域の産業や食文化への理解を深めることができる</p>	<p>食料の生産、流通に関わる人びとに対する感謝の気持ちを育むことができる</p>	<p>学校と地域との連携・協力関係を構築することができる</p>
--------------------------------	-------------------------------------------	----------------------------------

### 食品を選ぶ際は、産地や生産者を意識してみませんか?

地場産物コーナー  
直売所や道の駅、スーパーマーケットの地産産物コーナーなどを活用しましょう。地産産物のほか、自分が応援したい地域や被災地の産品を選ぶことは、その産地の生産者を応援することにつながります。